



広報かわまた 700号

おかげさまで 700号に なりました。

広報かわまたは、昭和
30年6月30日創刊号
から数え、本号でちょうど
700号を迎えました。

広報かわまたは、これか
らも、町がみなさんへお伝
えすべき情報をしっかりと
掲載する情報紙であること
はもちろん、みなさんに知っ
てほしい町の話題などを、
楽しく、読みやすく掲載す
る広報紙でありたいと思っ
ています。

どうぞみなさん、これか
ら「広報かわまた」をよ
ろしく願います。



斎藤 恵二さん (69歳 鶴沢)

「広報かわまた」いつも
楽しみにしています。

「広報かわまた」の紙面は、写真が多く、楽しく読めるので毎月楽しみにしています。カラーのページが多い点も良いですし、特に町の子どもの写真がたくさん載っているのが良いですね。子どもたちの笑顔は、本当に町の宝ですね。見ているだけでこちらも元気になれる不思議なパワーがあるので、今月はどんな笑顔が載っているのだろうと、毎月ページを開くのが楽しみです。

また、私は、川俣高校を昭和39年度に卒業し、現在は、毎年、旧友との同窓会を行っています。その際、町を離れた方に、同窓会の開催通知と一緒に広報かわまたを送ると、「町の情報に触れられて嬉しい、懐かしい」との声が届きます。町を離れた方でも、見やすい町の広報紙を楽しみにしてくれているようです。

毎月、エマ先生のワクワクダイアリーも、地元密着通信も、楽しみながら読んでいます。何が足りないかなと考えた時、議会だよりのように町民の声が載るコーナーがあっても面白いのかなと、一人、考えたりもしています。

何はともあれ、これからも行政と町民の懸け橋「広報かわまた」を楽しみにしています。

—あなたへの大切なお手紙になれますように—

広報かわまたの役割

町の情報が、みなさんに
正しくわかりやすく
伝わるように…。

「広報かわまた」は、あなたへの毎月のお手紙になりたいと思っています。

言ってみれば「広報かわまた」は、発行した時点では、町が一方的に情報を発信している、ただの情報紙にすぎません。

しかし、みなさんの手にわたり、みなさんが実際に「広報かわまた」

に触れて、ページを開き、記事を読み、情報をつかんでくださったとき、「広報かわまた」は、はじめて町からあなたへのお手紙になるのだと思います。

町の情報を正しくお伝えするために、そして、みなさんに町の情報に興味を持ってもらうために「広報かわまた」は、みなさん



んが読みやすいことはもちろん、「ちよつと読んでみようかな」「今月はどんなこ

とが書いてあるかな」と、みなさんがわくわくしながら読み進められるような、楽しくわかりやすい紙面であるべきと考えています。

みなさんの手元に届く大切な人からのお手紙のように、「広報かわまた」もみなさんへのお手紙になれるように、「どうすれば読みたいくなるのだろう」「どうしたらこの情報が正しく伝わるのだろう」ということを日々考えながら、写真を撮り、レイアウトを考え、編集しています。

まだまだ発展の余地がある紙面ですので、日々進化しながら、これからも、あなたに情報を伝えたいという思いを込めて発行していきます。

800号、900号、そして1000号と、末永く「広報かわまた」が、町からあなたへの大切なお手紙になれるように…。

